

4

2025

三重病院

## ニュースレター

news letter vol.303

## 01 院長就任のご挨拶

2病棟の子どもたちの生活のひとコマ

## 02 通所支援事業のひとコマ

糖尿病ワンポイントアドバイスNo.9

三重県アレルギー療養指導スタッフ養成コース

## 03 看護師紹介[手術室]

5病棟の生活のひとコマ

今月のみえツウちゃん

## 04 病院からのお願い/外来診察のご案内



## 院長就任のご挨拶

菅 秀

このたび、国立病院機構三重病院の院長に就任いたしました菅秀（すが しげる）です。非常に責任ある立場を拝命し、身の引き締まる思いです。私は1989年（平成元年）に小児科医となり、県内関連病院で臨床研修を積み、大学院および米国留学での基礎研究を経て、三重大学医学部附属病院小児科で主に小児がん患者を対象とした臨床および研究を行ってきました。2008年（平成20年）に三重病院小児科に移ってからは、感染症、ワクチン、内分泌、糖尿病を中心とした診療、研究および教育に携わり、副院長として病院全体の管理、運営にも関わってきました。院長就任にあたり、4つの柱を掲げて、さらに一層の医療の向上を目指して取り組んでまいります。

第一に、地域に必要とされる信頼ある医療の提供です。私たちは、患者様の声に耳を傾け、個別のニーズに応じた医療を提供することで、地域の健康を守り続けてまいります。地域医療の中核を担い、多くの患者様に信頼される病院として、今後も一層地域に密着した医療を提供していきます。

第二に、レジリエントな危機に強い医療体制の構築です。昨今のパンデミックや自然災害など、どのような危機にも対応できる強靱な医療体制の整備は不可欠です。これからも、最新の情報に基づいた迅速かつ的確な対応ができる体制を作

り、どんな状況でも患者様に安心して医療を受けていただけるよう努力してまいります。

第三に、健康で楽しく働ける職場環境づくりです。優れた医療を提供するためには、医療スタッフ一人ひとりが健康で意欲的に働ける環境が不可欠です。職場のストレス軽減やキャリアアップの支援を通じて、スタッフがやりがいと誇りを持って仕事に取り組める環境づくりに努めてまいります。働きやすい職場は、結果として患者様に対するサービスの向上にも繋がると信じています。今後も研修や勉強会を充実させ、医療スタッフが常に成長できる環境を整えていきます。

第四に、健全な経営の維持と、最新医療および良質な患者ケアの提供との両立です。病院の経営基盤をしっかりと支えることは、医療の質を保ち、患者様に最適な医療を提供するために必要です。健全な経営を確立しつつ、常に最新の医療設備や技術を導入し、患者様に質の高い医療サービスを提供できるよう尽力してまいります。

これらの目標を実現することで、私たちは「安心できる良質な医療を提供し、地域に貢献する」という当院の理念を体現していきます。これからも、より良い医療環境を作り上げていくため、地域の皆様と共に歩みながら、全職員一丸となって努力してまいります。今後とも、温かいご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。